

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和2年2月1日(土)		
開催時間	14:00~16:30		
開催場所	博多駅東レファレンスセンター 福岡市博多区駅東1-16-14		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	地域経済分析システムリーサス		
講師等の氏名等	(株)富士通総研(FRI) 榎並利博 氏		
内容・結果等	<p>1. RESAS活用事例と議員役割</p> <p>①八戸市の地域経済循環分析:新たな施策の立案 短所 労働生産性が低い、第3次労働生産性につながない、高齢化 八戸ブランドの強化、観光の強化(新しい観光)、(デジタルコンテンツビジネス)</p> <p>②豊岡市の施策検証型分析 靴産業の推進 swot分析(独自分析)opotunity 従業員の推移、将来性 労働生産性が高くない(大手ブランドOEMの下請け)、付加価値を高める⇒海外戦略 ・自分の地域はこの先どうなるのか?・・・将来に対する危機感を市民と共有 ・自治体における課題とはなにか?・・・解決策があるのか? データに基づいて行う</p> <p>2. 地位経済マップ 生産分析、分配分析、支出分析</p> <p>①生産分析 ・影響力の係数 ②分配分析 外の自治体で稼いでくる ③支出分析 ・地域における民間消費額、民間投資額、 地位経済マップ f.e 東京100%以上 185% 分配も大きいが入りも大きい 生産分析(松阪市) (当市:観光で外から流入量が多く稼いでいる;支出はマイナス)</p> <p>3. 産業構造マップ 全産業・製造業・農業・林業。水産業単位 自治体の産業構造がわかる</p> <p>4. 企業構造マップ 企業情報、海外取引・進出、研究開発</p> <p>5. 観光マップ 外国人分析 メッシュマーク 中国・台湾・韓国、アジアの観光客が多い データを参考にどのようにプロモーションをすべき 嬉野町約13万人(外国人滞在) 観光消費額 小売額(お土産)が大部分、宿泊、中国人は小売り消費が多い アメリカは小売りと宿泊に消費、佐賀県(50歳代の女性が消費額が多い)</p> <p><まとめ> 地域経済分析システム(RESAS)は、地方自治体の様々な取組みをを情報面から支援するために、まち・ひと・しごと創生本部事務局が運用している。産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムで、様々なデータを地方の様々な課題、問題を解決する地域活性化の支援ツールといえるもので、今後は様々な分野で問題解決の支援として活用できるシステムである。地方での活用が期待される</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	講師謝礼		0
	会費		15,000
	旅費		5,480
	宿泊費		0
	合計		20,480